

## (産業振興・人材育成)

はじめに、産業振興についてであります。

新たな「大田市産業振興ビジョン」に基づき、大田市産業支援センターで情報共有を図りながら、地場産業の支援はもとより大田市製品の販路拡大、企業誘致、人材の確保・育成など、市内産業の活性化に向け積極的に取り組んでまいります。

引き続き、起業・創業、事業承継を支援するため、初期投資の低減を図り、商業活性化に繋げてまいります。

さらに、大田市駅前周辺の活性化については、大田商工会議所をはじめとした関係機関と一体となって今後のまちづくりについて協議検討を進めてまいります。

また、平成28年度、企業からの寄附を財源として自治体の地域活性化を図る「企業版ふるさと納税制度」に基づく事業が県内で唯一採択されました。新年度においてもこの制度を有効に活用し、生徒や保護者の、市内事業者への理解を促すことで、市内で働く人材の確保、定着を図ってまいります。

## (観光振興)

次に、観光振興についてであります。

世界遺産「石見銀山遺跡」や国立公園「三瓶山」など当市の豊富な観光資源を最大限に活かし、「住んでよし、訪れてよしの観光地域づくり」を目指し、石見銀山遺跡の世界遺産登録10周年を盛り上げるべく、各種観光施策に取り組んでまいります。

具体的には、10周年を契機に市内で実施されるイベントや体験プログラムをはじめ、石見神楽上演などを支援し誘客促進を図るとともに、大田市観光協会や島根県、山陰インバウンド機構などの観光関連団体と連携して、島根県唯一の世界文化遺産の価値や魅力を、大都市圏を中心に積極的に発信してまいります。

また、11月に開催する「世界遺産サミット」では、世界遺産の保全と活用について、活発に意見を交換し、今後に活かしてつなげてまいります。

ヘルスツーリズム事業については、来訪者に対する受入環境整備や、健康効果が認められるプログラムが商品として提供できるよう、「日本一の健康保養都市おおだ」を目指し、事業化に向けた支援を行ってまいります。

### (国立公園満喫プロジェクト)

次に、国立公園満喫プロジェクトについてであります。

平成 28 年度に策定した「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム 2020」に基づき、三瓶山の魅力アップに向けた当面の取り組みとして、訪日外国人や来訪者が自然、歴史・文化を満喫できるよう、室ノ内展望所の再整備、PR ポスターやパンフレットの作成などに取り組んでまいります。また、既存の公衆トイレの改修等島根県の取り組みとも連携し、来訪者数の増加を目指します。

### (農林水産業)

次に農林水産業についてであります。

農業については、平成 28 年度策定の「大田市農業活性化プラン後期計画」を基本として、農産物直売施設への需要に応じた供給を進めるとともに、特産化を進めておりますエゴマの生産振興、6 次産業化への取り組みについて、継続して支援を行ってまいります。

また、農作業の省力化及び農業経営の効率化のため、農地の基盤整備を着実に実施するとともに、営農経営体の育成を図ってまいります。

畜産業については、和牛の飼養管理の補完機能や担い手の確保機能を備えた「畜産総合センター」の計画的な整備を支援するとともに、利用促進を図ってまいります。あわせて、平成 28 年度に立ち上げた耕畜連携推進協議会を軸に飼料作物の生産、供給に取り組んでまいります。

水産業については、従事者の減少と高齢化が進行している本市漁業の担い手確保、育成は喫緊の課題であります。新たに自営する漁業者に対して、経営開始時

の初期投資等への負担を軽減する支援を行うことにより、担い手の確保、育成を進めるとともに、県、関係機関と連携し、高齢の熟練漁業者から後継者への漁労技術の継承につなげてまいります。

森林・林業・木材産業対策については、原木の伐採技術者の養成など、生産体制の構築に最優先で取り組むとともに、教育・観光分野などと連携した多面的利用など、豊かな森林資源を守り活かすため、平成28年度に策定した「大田市未来につなぐ森づくり構想」に基づき、関係者・地域一体となって推進してまいります。

### **(道の駅整備)**

次に、仁摩地区への道の駅整備についてであります。

平成27年度に策定した「道の駅整備構想」並びに「道の駅整備計画」に基づき、着実に事業を進めてまいります。

新年度には、地元の皆様をはじめとした関係者の皆様のご意見を頂き、駅舎の基本設計に着手してまいります。

併せて、国・島根県、地元関係機関と連携し、道の駅の運営内容や、地元特産品の供給体制構築などを検討してまいります。当市の魅力の発信拠点として、地元の皆様に喜んでいただける、特色ある道の駅の整備に取り組んでまいります。